



# 街中で見つけた! 熱き応援団 調布の福祉応援マップ

vol.1

## ショップはこちらへどうぞ!

### 12 わかくさショップ (小島町 2-47-1 調布市総合福祉センター 1F)

調布市総合福祉センター1階入口にある、クッキーなどの焼菓子、ジェラート、工芸品など、市内福祉事業所の自主製品が集まるショップです。特に人気のパンは、午前中入荷後まもなく売り切れてしまうので、ぜひお早めに!

開店時間 月・水・金 (10:30~14:30) ※祝日・休館日を除く  
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会ドルチェ



お買い物で福祉を  
応援できます!



調布市福祉作業所等連絡会は、

調布市内にある「障がいのある人の仕事や活動の場」  
(障害者総合支援法の就労継続支援B型事業所や生活介護等の  
サービスを実施する事業所)のほか、

「障がいのある子どもの療育と放課後・余暇活動の場」  
(児童福祉法にもとづく放課後等デイサービス事業所等) などが加盟している団体です。

「わくわく」は、障がいのある幅広い年齢層の人たちが  
「わくわくしながら働き、暮らせるよう」エールを贈りながら、  
一般市民の方々に福祉を知ってもらいたいと、春と秋の年2回、発行しています。

制作には団体内の有志が編集委員として参加しています。

今号は市内で福祉を応援している方々をご紹介します。

調布市内で頑張っている方々は、まだ大勢いらっしゃいます。

次号第二弾に向け、自薦他薦問わず、どしどし情報をお寄せください!



『わくわく 27号』2025年秋発行 発行 | 調布市福祉作業所等連絡会  
調布市布田 2-26-8-101 TEL 042-481-3201 fuku-renraku@tbz.t-com.ne.jp  
編集 | 羽塚順子 (MotherNess Publishing) デザイン | 深瀬美帆 写真 | 出原れい







# 調布の福祉にエールを！

*Cheers to welfare in Chofu!*

福祉とは、私たちの「暮らしの幸せ」そのものを意味します。

しかしそれは、一人では実現できません。

市内のあちこちに、誰もが幸せに生き生きと暮らしていくことを願い、

仕事を通して、地域の福祉を支え、応援してくれる方々があります。

そんな方々からのエールをお届けします！

撮影場所：調布市文化会館たづくり展望ロビー



## サッカーで応援!

### 4 東京フットボールクラブ株式会社 (下石原 1-2-3)

プロサッカークラブ「FC東京」の運営会社として、調布市の子供たちや障がい児向けのスクールや交流会等、各種イベントを行なっています。市のデフリンピック応援企画にも協力しています。連絡会さんの「ほりでーぶらん」への協力に加え、定期的に市内グラウンドなどで障がい児者向けのサッカー教室を開催。4クラス約80名の障がいのあるお子さんたち楽しんでいただいています。これからもFC東京は福祉を応援していきます!

皆さん! FC東京と一緒に調布を元気にしましょう!

マーケティング本部  
エリアプロモーション部  
唐渡 健さん



# 福祉応援MAP in 調布 vol.1



<MAP制作にご協力いただいた皆様>

電車イラスト & 駅文字 | 和田晴生さん(NPO法人調布心身障害児・者親の会びす)  
イラスト色付 | 飛行機 & カチンコオレンジ: 三谷玲央さん/スタジオM: 丹 宣真さん/  
深大寺: 小幡悦子さん/カチンコ黒: 浅野開陸さん(以上、NPO法人ファーストステップ)

売店での商品販売の連携で福祉を応援しています!

調布市には、全国でも先駆けの福祉活動があります!

## 売店と広報誌で応援!

### 5 医療法人社団東山会 調布東山病院 (小島町 2-32-17)

病院の広報担当として、カラー16ページの「東山だより」を年3回発行、今年から表紙は「パラアートちょうふ」の作品を載せています。5年目になる「調布の福祉」の連載取材では、毎回、様々な福祉関係の方から何うお話に感銘を受け、記事への反響も寄せられています。1階売店前の専用ラックで販売する作業所のお菓子や冷蔵コーナーのプリンも人気で、イベント等でも作業所の商品をお願いすることがあります。今後もつながりを大切に、応援していきます!

業務課 広報チーム  
森口 摂さん



クオール株式会社  
ヘルスケア推進本部  
ヘルスケア売店事業部  
外山恭太さん

## ウェブ発信で応援!

### 6 特定非営利活動法人 調布市地域情報化コンソーシアム (小島町 2-40-10-2F)

当法人は「調布市民が簡単に情報を得られたり発信できるようにする」というミッションのもと、市民有志で立ち上げた非営利法人。現在、「調布どっとこむ」(お店やイベント)、「調布経済新聞」(出来事)の2つの情報発信サイトを運営。情報を共通の仕組みで共有化することで、市内のさまざまな情報が集まり、横串で通すことができるのが私たちの強みでもあります。連絡会さんのホームページも担当。情報発信で福祉をお手伝いしていきたいと思ひます!



多岐にわたる市民に役立つ情報を扱う

調布の福祉もイベントも一緒に盛り上げましょう

代表理事  
大前勝巳さん

## 車両整備で応援!

### 9 西武日野モーター株式会社 (布田 2-14-1)

地元で長年、自動車販売と整備を続けています。調布を耕す会さんの福祉車両販売のご縁から、継続して整備をさせてもらっています。以前、障がいのある方の送迎途中で故障があり、車中で具合が悪くなってしまう方がいらしては大変と、急いで修理に向かいました。どのようなお客様にも迅速を心がけていますが、特に福祉関係車両は、いつどのような時でも対応できるよう、それが私たちにできることだと思っています。

福祉車両の整備や車検は私たちに任せください!



営業所長  
二級整備士  
関口貞夫さん

福祉の方々の活動の場を増やし元気にしていきます!

事務局  
岩崎弥左子さん

事務局長  
鎌田将雄さん

事務局事業係長  
三ヶ尻光一さん



## 協業で応援！

### 1 アフラック・ハートフル・サービス株式会社 (小島町 2-48-26 サウスゲートビル)

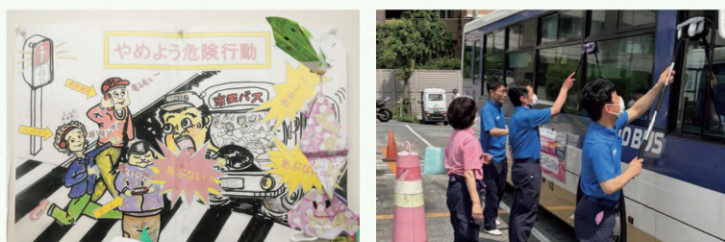
アフラック生命保険株式会社の特例子会社として、120名以上の障がい者を雇用しています。オフィスサービス業務を中心に、近年はオフィスコンシェルジュ業務やアート業務にも取り組んでいます。社員の福利厚生に、市内作業所でつくるお菓子の詰め合わせ袋と「わかくさショップ」等で使えるチケット入り「調布市定期便」を配付しています。連絡会さんと向かっていく方向は一緒。長い目でしっかり協業・連携をしていきます！



## 雇用と連携で応援！

### 2 株式会社京王シンシアスタッフ (多摩川 4-40-2)

京王電鉄(株)の特例子会社として、約100名の主に知的障がい者の方方を雇用しています。チームで京王電鉄と京王グループ各社の現場施設清掃、シーツ交換、軽作業、名刺作業等を行なっています。市民の皆さんが乗車される京王バスは、彼らが車体と車内をピカピカにしているんですよ！最近では、調布市パラアート展に参加するなど、社内だけでなく地元福祉関係の方々と交流も増え、作品が展示されたご本人たちは、とても喜んでます。



実は全員、障がい者支援は初めてだった元電鉄マンです！



写真上・右下：オフィスの壁や名刺には社員のアート画／左下：社内で「調布市定期便」を配付

経営管理部 人事総務課 坪内朱音さん

## 店舗と講座で応援！

### 3 無印良品 調布パルコ (小島町 1-38-1 調布パルコ 3F)

無印良品 調布パルコでは、障がいのある方の就労体験、作業所で製造する調布産の素材を使ったジェラートの販売、障がいのある方への洋服コーディネート、パラアート作品展示などを行っています。整理収納アドバイザー資格を持つ社員と、特別支援学級での整理収納講座を開きました。私たちが地域や福祉に役立てることを、関係者の方々と協力しながら、細く長く継続していくことが大切だと思っています。



営業本部 販売部ブロックマネージャー 福谷加緒里さん

## 委託発注で応援！

### 7 一般社団法人調布市市民サービス公社 (国領 4-51-7)

調布市と一体となり、きめ細かな市民サービス実現のための事業を受託。職員は全員、福祉に対する貢献マインドを強く持ち、障がいのある方々に様々な発注をしています。例えば、書類を指定場所から預かり、指定先に届けてもらうお仕事、駐輪場の清掃。また、ふじみ交流プラザの1階ガラス窓の装飾は、毎月異なる事業所さんに、季節感あふれる空間を演出してもらっています。障がい者の方のアートを身近に感じ、多くの市民の方々に楽しんでいただけたら嬉しく思います。



障がいのある方々がこのバッグで書類を運んでいます

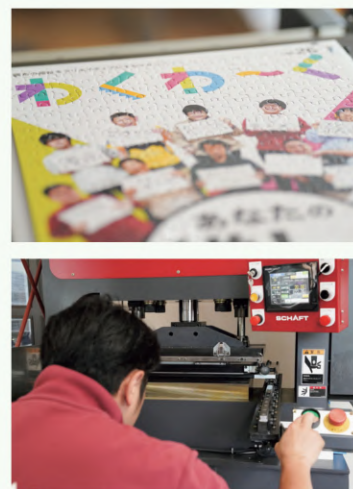


Cafe AiR 嶋田理明さん

## ジグソーパズルで応援！

### 11 シャフト株式会社 オリジナル工房 (国領町 4-17-5)

元々は高校教師をされていて、子どもが生まれてから、家族写真のオリジナルパズルをつくりたいと、独立起業。ご家族の節目になる記念写真を、弊社が開発したパズル専用のプレス機を使い、世界で一つだけのジグソーパズルをつくっています。パズル用の台紙に白いシートを貼り込む準備作業を、めじろ作業所のみなさんをお願いしていますが、とても綺麗にピシッと仕上げてくださるので、パートナーとしてなくてはならない存在です。



福祉の方とのジグソーパズルコラボで地域を元気にしたい！

代表取締役 清水健太郎さん



## 販売スペースと企画で応援！

### 8 株式会社パルコ調布店 (小島町 1-38-1 調布パルコ)

調布の駅前で地域の皆さまに愛され35年。店舗入口前スペースでの連絡会さんの販売会など、ご協力をさせて頂いてきましたが、私自身は今春、調布に赴任したばかり。以前は、福祉のものづくりの方をお呼びしてトーク企画等していましたので、調布で福祉の皆さんとも取り組みができればと考えています。今秋、アート展示を予定しています。調布パルコ芸術祭など、今後の企画を楽しみにしてください。



営業課 小堀玲奈さん

## カフェで応援！

### 10 株式会社アルモニ (菊野台 1-16-5)

京王線柴崎駅前で、祖父の代から酒屋を営み、現在Cafe AiRと珈琲焙煎店と3店舗を経営。ポピーの家の施設長が来店されお話を伺ったのをきっかけに、パラアート展に出かけるようになり、作品があまりに素晴らしかったので、購入して店に飾らせて頂いています。個人的には、佐須街道から深大寺への観光を促す地元商店街の活性化、柴崎駅構内の自殺防止ホームドア設置運動等を行ってきました。地域みんなが豊かで元気になるよう、これからも福祉を応援しながら活動を続けていきます！

